

②いきいき高松まなびプランⅡ(高松市生涯学習基本計画)に基づく重点取組事業推進状況一覧表

重点取組事業	施策体系	事業名	実施主体	事業概要	20事業内容(実績)	21事業内容(実績)	22事業内容(実績)	23事業内容(実績)	24事業内容(計画)	24事業内容(実績)	総合(過去5年間)		課名		
											評価点	評価の理由			
1	効果的な情報提供の推進	1	1	1	市ホームページによる情報の提供	市	最新の情報通信技術を活用し、「高松市ホームページ」の内容を充実することで、市民が利便性を感じられる情報提供を図る。	ホームページ研修 ホームページ運用	ホームページ研修 ホームページ運用	ホームページ研修 ホームページ運用	ホームページ研修 ホームページ運用	4点	各種市政情報は、適時適切に掲載されている。	広聴広報課	
		1	1	1	子育て支援総合情報発信事業	市	子育てについての様々な悩みや不安等を解消するため、子育て家庭が必要とする各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」の作成、最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」の構築により、積極的な情報発信を行う。 ※公募によりNPO法人に委託し、子育て家庭の多様なニーズに対応した情報発信に努める。	・子育てハンドブック「たかまつらっこ」の配布(20,000部) ・母子手帳交付時、子育て家庭の転入時のほか、子育て支援関連窓口・施設にて配布 ・たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」の開設・運営管理 年間アクセス件数 2,151,784件 月平均アクセス件数 180,000件	・子育てハンドブック「たかまつらっこ」の配布(10,000部)、改正・増刷(7,500部) ・母子手帳交付時、子育て家庭の転入時のほか、子育て支援関連窓口・施設にて配布 ・たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」の開設・運営管理 年間アクセス件数 2,545,628件 月平均アクセス件数 212,000件	・子育てハンドブック「たかまつらっこ」の配布、改正・増刷(7,500部) ・母子手帳交付時、子育て家庭の転入時のほか、子育て支援関連窓口・施設にて配布 ・たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」の開設・運営管理 年間アクセス件数 3,317,218件 月平均アクセス件数 276,734件	・子育てハンドブック「たかまつらっこ」の配布、改正・増刷(7,500部) ・母子健康手帳交付時、子育て家庭の転入時のほか、子育て支援関連窓口・施設にて配布 ・たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」の開設・運営管理 年間アクセス件数 3,201,144件 月平均アクセス件数 266,762件	・子育てハンドブック「たかまつらっこ」の配布、改正・増刷(10,000部) ・母子健康手帳交付時、子育て家庭の転入時のほか、子育て支援関連窓口・施設にて配布 ・たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」の開設・運営管理 月平均アクセス件数 267,000件 ・ひとり親向け情報発信事業の構築	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) ○母子健康手帳交付時、出生届提出時などに配布するほか子育て支援関連窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」 ○「らっこネット」からのお知らせとして、事業の改正点や、市民・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。マップ検索機能を追加している。 年間アクセス件数 2,726,348件 月平均アクセス件数 227,000件 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの構築	子育てハンドブックを7,500冊から10,000冊に増刷し、新たにひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの構築を行ったため。	子育て支援課
		1	1	1	コミュニティセンターおよび公民館だよりの発行	市	公民館やコミュニティセンターで開催される講座や行事等の学習情報に加え、地域の中学校や生涯学習センターに関する情報を紹介する「公民館(コミュニティセンター)だより」を全ての施設で発行する。	コミュニティセンター43館および公民館9館において定期的に発行した。	コミュニティセンター46館および公民館6館において定期的に発行した。	コミュニティセンター51館および公民館1館において定期的に発行した。	コミュニティセンター51館および公民館1館において定期的に発行した。	コミュニティセンター51館および公民館1館において定期的に発行する。	コミュニティセンター51館および公民館1館において定期的に発行した。	計画どおり、コミュニティセンター51館および公民館1館において定期的に発行できたため。	生涯学習センター
		1	1	1	まなびCAN・Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより希望者のパソコンや携帯電話へ直接、講座情報等を送信するサービスを行う。また、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCAN」からの手紙」というコーナーを設け、講座やイベントの情報を掲載する。	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載した。 Eメールサービス登録者数 185人	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載した。 Eメールサービス登録者数 213人	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載した。 Eメールサービス登録者数 232人	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載した。 Eメールサービス登録者数 266人	広報たかまつの発行に併せて、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載する。 Eメールサービス登録者数 290人	広報たかまつの発行に併せて、毎月、Eメールにより生涯学習センターの講座情報等を配信するとともに、高松市が発行している「メルマガもっと高松」に「まなびCANからの手紙」というコーナーを設け、講座情報等を掲載できたため。	生涯学習センター	
		1	2	1	コミュニティセンターおよび公民館におけるパソコン講習会	市	公民館やコミュニティセンターでパソコン講習会を開催し、パソコンの操作技術やマナーなどの学習機会を提供する。	コミュニティセンターおよび公民館においてパソコン講習会を開催した。 36館 52講座 延べ2,685人受講	コミュニティセンターおよび公民館においてパソコン講習会を開催した。 38館 59講座 延べ3,298人受講	コミュニティセンターおよび公民館においてパソコン講習会を開催した。 30館 44講座 延べ2,631人受講	コミュニティセンターおよび公民館においてパソコン講習会を開催した。 27館 37講座 延べ2,731人受講	コミュニティセンターおよび公民館においてパソコン講習会を開催する。 25館 36講座 延べ1,886人受講	コミュニティセンターおよび公民館において半数の施設において、パソコン講習会を開催できたが、講座数、参加者数が減少したため。	生涯学習センター	
2	家庭の教育力の向上と子どもたちの体験活動の充実	2	1	2	子育て広場(愛称:夢てらす)	市	・保護者や子どもの交流の場の提供 ・子育てに関する情報の提供 ・子育てに関する相談の実施	○自由参加利用日 ・火、木、土曜日:午前10時～正午 ・水、金曜日:午前10時～正午、午後1時～3時 ●利用者 ・自主事業2,405組・5,098人(延べ利用人数) ・団体利用2団体 20組・60人(延べ利用人数) ○子育て相談 ・火曜日:午後1時～3時 ●相談件数 3件	○自由参加利用日 ・火、木、土曜日:午前10時～正午 ・水、金曜日:午前10時～正午、午後1時～3時 ●利用者 ・自主事業2,381組・5,277人(延べ利用人数) ・団体利用2団体 24組・88人(延べ利用人数) ○子育て相談 ・火曜日:午後1時～3時 ●相談件数 5件	○自由参加利用日 ・火、木、土曜日:午前10時～正午 ・水、金曜日:午前10時～正午、午後1時～3時 ●利用者 ・自主事業2,641組・5,790人(延べ利用人数) ・団体利用1団体 66組・140人(延べ利用人数) ○子育て相談 ・火曜日:午後1時～3時 ●相談件数 2件	○自由参加利用日 ・火、木、土曜日:午前10時～正午 ・水、金曜日:午前10時～正午、午後1時～3時 ●利用者 ・自主事業2,602組・5,680人(延べ利用人数) ・団体利用2団体 36組・73人(延べ利用人数) ○子育て相談 ・火曜日:午後1時～3時 ●相談件数 4件	24年6月から健康福祉局子ども未来部子育て支援課で事業実施。 ○自由参加利用日 ・月～金曜日:午前10時～正午 午後1時～3時 ○利用者 ・1,234組・2,556人(延べ利用人数) ○相談件数 135件	定員を超える利用があり、親子の交流の場、子育てに関する情報の提供、また相談を実施することが出来、平成24年度からは子育て支援課で事業を継続している。	子ども未来館整備室	
		2	1	2	家庭教育学級	市	市立小学校・幼稚園のPTAが開設する家庭教育学級や家庭教育についてに学習する子育てサークル等のグループが開設する市民グループ家庭教育学級に対し、講師謝金に係る経費を助成している。	・市立小学校家庭教育学級 51学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 29学級 ・市民グループ家庭教育学級 8学級	・市立小学校家庭教育学級 51学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 29学級 ・市民グループ家庭教育学級 7学級	・市立小学校家庭教育学級 47学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 30学級 ・市民グループ家庭教育学級 7学級	・市立小学校家庭教育学級 47学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 30学級 ・市民グループ家庭教育学級 5学級	・市立小学校家庭教育学級 48学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 30学級 ・市民グループ家庭教育学級 6学級	(生涯学習センター) ・市立小学校家庭教育学級 47学級 ・市立幼稚園家庭教育学級 30学級 (生涯学習課) ・市民グループ家庭教育学級 5学級	(生涯学習センター)家庭教育学級や家庭教育についてに学習する家庭教育学級が、多くの市立小学校・幼稚園のPTAにおいて開設した。 子育てサークルの市民グループにおいても概ね開設できた。	生涯学習センター 生涯学習課
		2	1	2	子育て力向上応援講座	H20年度家庭教育推進協議会 H21年度～高松市	子育て中の親を対象に、子どもの成長段階に応じた内容について、専門家の講師による講座を開催する。	・講座数 2コース 各3回 ・乳幼児～小学校低学年の子どもを持つ親向け ・小学生～高校生の子どもを持つ親向け ・受講者数 延194人	・高松市立全小学校52校中41校実施 ・参加した保護者合計数 3,478人	・高松市立全小学校48校中41校実施 ・幼稚園2園実施 ・参加した保護者合計数 約3,600人	・高松市在住の小学校新入生を持つ保護者全員を対象に46箇所を実施 ・参加した保護者合計数 3,829人	・高松市立全小学校の就学時健康診断時に実施し、講師は小学校に希望調査を行い選定する。	・高松市在住の小学校新入生を持つ保護者全員を対象に46箇所を実施 ・参加した保護者合計数 3,979人	全ての就学時健康診断において開催した。	生涯学習課
		2	2	3	放課後子ども教室事業	市(委託)	実施校区に、コーディネーター(学校や関係者との連絡調整、ボランティアなど協力者の確保・登録・配置などを行う。)や安全管理員(活動における児童の安全を監視する。)などを配置し、地域の方々の協力を得ながら、学校施設等を活用して、放課後における子どもの安全で安心な居場所をつくりを推進する。	実施校区 15校区	実施校区 20校区	実施校区 23校区	実施校区 25校区	実施校区 31校区	実施校区 29校区	放課後や週末等に、子どもたちに安心・安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりに貢献した。	子育て支援課
		2	3	1	子ども教室	市	市内の5・6歳児および小学校の児童を対象として、春・夏・秋の子ども教室15コースにより、仲間づくりや自主性と研究心を養うとともに情報豊かな子どもたちの育成支援を行う。	春の子ども教室4コース 夏休み子ども教室15コース 秋の子ども教室4コース	春の子ども教室6コース 夏休み子ども教室15コース 秋の子ども教室4コース	春の子ども教室5コース 夏休み子ども教室15コース 秋の子ども教室5コース	春の子ども教室5コース 夏休み子ども教室15コース 秋の子ども教室4コース	市民文化センターの閉館により、事業廃止	各教室の開催は、仲間づくりや自主性と研究心を養うとともに情報豊かな子どもたちの育成支援ができた。	子ども未来館整備室	
		2	3	1	乳幼児とのふれあい事業(※)	市	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成および次代の親づくりを促進するため、年長児童(中学生)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあいを交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方の学習および乳幼児の安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。	中学生(2校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。	中学生(2校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。	中学生(2校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。	中学生(2校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。	中学生(2校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。	平成23年度からの開始事業で2年間の実績ではあるが、子どもが健康やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。	子育て支援課	

②いきいき高松まなびプランⅡ(高松市生涯学習基本計画)に基づく重点取組事業推進状況一覧表

重点取組事業	施策体系	事業名	実施主体	事業概要	20事業内容(実績)	21事業内容(実績)	22事業内容(実績)	23事業内容(実績)	24事業内容(計画)	24事業内容(実績)	総合(過去5年間)		課名				
											評価点	評価の理由					
2	3	1	子どもわくわく体験支援事業	市(補助)	まちや自然を新たな学びの場として活用し、青少年の体験活動事業を企画・実施する市民団体に対し、支援を行っている。	・実施団体数 4団体 ・参加人数 235人 ・内容 ・いこいの森で遊ぼう！！ ・里山たんけん隊 ・X劇場 不思議の森のつくりかた ・里山まるごとキャンプ(2009春)	・実施団体数 2団体 ・参加人数 69人 ・内容 ・さをり織りを楽しむ ・ふるさと学習・探検隊	・実施団体数 2団体 ・参加人数 87人 ・内容 ・さをり織りを楽しむ ・劇づくりワークショップ「隠されし屋島の謎にせまる1泊2日の旅」	・実施団体数 4団体 ・参加人数 403人 ・内容 ・さをり織りを楽しむ ・さぬきのええもん見つけたい★取って、作ろう、郷土の料理★ ・みんな笑顔で運動会 ・なわ×なわジャンプ！2012～なわとびの楽しさ無限大～	実施団体数 5団体	・実施団体数 2団体 ・参加人数 80人 ・内容 ・さをり織りを楽しむ ・(三谷地区コミュニティ協議会) ・おいわい寺子屋事業 (高松市青年連絡協議会)	3点	毎年度いくつかの市民団体からの申請があり、青少年に対する体験活動事業を実施し、一定の成果は、あるものの、申請団体数が計画どおりの実績には達しておらず、年度によってバラつきが見られるため	生涯学習課			
2	3	1	親子文化財教室	市 高松市文化財保護協会	高松市文化財保護協会と共催で、年2回、市内の小中学生とその保護者を対象に、親子で郷土の歴史・文化財を学習し、文化財に見込に接する場を提供している。当該教室は、アウトドア体験型を主にしているため、まちや自然を生かした学習の場の活用にもつながるものである。	郷土に伝わる玩具づくりとして、竹細工で「カニ」①を、また折紙細工で「干支の丑」②を親子で作る教室を実施した。 ① 7月19日(土) 39名参加 ② 12月13日(土) 45名参加	昭和40年ころまで子どもの遊びを代表していた竹製の「木の実鉄砲」や「水鉄砲」を作る①体験学習会を、また、中世に長く笠原郷を治めていた香西氏の本拠である勝賀城跡を訪ね②郷土の歴史を学ぶ学習会を実施した。 ① 8月 8日(土) 36名参加 ② 1月16日(土) 8名参加	①弘憲寺(鐘町)に於いて親子で座禅にチャレンジ②高松コミュニティセンターに於いて讃岐の郷土食「あんもち雑煮」の体験教室を実施した。 ① 7月24日(土) 親子8組21名参加 ② 12月18日(土) 親子8組19名参加	①新市民病院建設予定地において、発掘作業の体験教室を実施した。 (8月20日(土) 親子27組75名参加) ②太田コミュニティセンターにおいて、餅花作りの体験教室を実施した。 (1月7日(土) 親子19組42名参加)	親子で学べる文化財講座を2回開催予定(予定内容) ①亀井戸の発掘と復元を学ぼう ②仏生山 法然寺の五重塔を学ぼう	①理蔵文化財センター等において、亀井戸について学習した。 (8月11日(土) 親子6組16名参加) ②法然寺において、寝釈迦、五重塔などについて学習した。 (1月5日(土) 親子9組30名参加)	4点	テーマによっては定員割れる場合もあったが、内容としては概ね好評であり小学生の文化財に対する学習意欲の向上に寄与できた。	文化財課			
3	環境学習・健康学習の推進	2	1	1	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育の中で、「食」についての講話および資料を配布することにより、子ども一人ひとりが「食べる力」を豊かに育み、健やかに育つことを支援するとともに、保護者となる大人自身の「食」を見直すきっかけ作りをする。	フードスタート運動 352回 3, 598人	フードスタート運動 357回 3, 408人	フードスタート運動(4か月児相談時) 314回 3, 327人	フードスタート運動(4か月児相談時等) 302回 3, 207人	フードスタート運動(4か月児相談時等) 302回 3, 342人	フードスタート運動 302回 3, 342人	授乳期・離乳期だけでなく、幼児期を含めた健康教育の中で、朝食や食育の大切さ等を周知・啓発を実施した。食育への関心を高めるためには、より効果的な啓発方法を検討していく必要がある。	保健センター		
		2	1	1	早寝早起朝ごはん運動普及・啓発事業	市	子どもの学習活動やスポーツ・遊びなど様々な活動に生き生きと取り組めるように子どもの基本的習慣の確立や生活リズムの向上につなげるため「早寝早起朝ごはん運動」の普及啓発活動を積極的に展開する。	・高松市内38校の小学校で就学時健康診断時に保護者にチラシとマグネットを配布し、職員による「早寝早起朝ごはん運動」の啓発を実施。 チラシとマグネット配布数 3325セット ・配布を希望した小学校等にもマグネットを配布。 マグネット配布数 4230個	・生涯学習課職員による説明(高松市立全小学校52校中42校実施) ・早寝早起朝ごはん啓発DVD(香川県作成)の鑑賞(高松市立全小学校48校中16校実施) ・高松市立全小学校にパンフレット、カレンダー、リーフレットを配布した。	・生涯学習課職員による説明(高松市立全小学校48校中37校実施) ・早寝早起朝ごはん啓発DVD(香川県作成)の鑑賞(8箇所実施) ・高松市立全小学校にパンフレット、カレンダー、リーフレットを配布した。	・子育て方向上応援講座講師および生涯学習課職員による説明(講師23箇所、職員23箇所) ・早寝早起朝ごはん啓発DVD(香川県作成)の鑑賞(8箇所実施) ・高松市在住の小学校新入学生子どもを持つ保護者全員にパンフレット、リーフレットを配布した。	高松市立全小学校で開催される就学時健康診断時に新入学生の子どもの親を持つ保護者全員にパンフレット、リーフレットを配布する。子ども達の基本的な生活習慣づくりについての説明を実施する。	高松市立全小学校で開催される就学時健康診断時に新入学生の子どもの親を持つ保護者全員にパンフレット、リーフレットを配布する。	・子育て方向上応援講座講師および生涯学習課職員による説明(講師25箇所、職員21箇所) ・早寝早起朝ごはん啓発DVD(香川県作成)の鑑賞(8箇所実施) ・高松市在住の小学校新入学生子どもの保護者全員にパンフレット・リーフレットを配布 ・「朝ごはんを食べよう」啓発ちらし(市作成)を配布(市立・保・幼・小・中) ・子育て新聞(Vol.3)に朝ごはんの効果掲載	3点	積極的な啓発活動を展開しているが、朝ごはんの摂取率が下がっているため。	生涯学習課
		2	2	1	子どもエコクラブ事業	市	地域における子どもたちの自主的な環境学習や、環境保全に関する実践活動を支援するため、子どもが誰でも参加できる環境活動クラブ「子どもエコクラブ」事業を環境省が実施しており、本市における会員募集や登録の受付、全国事務局からのクラブニュースの配布、壁新聞の募集などの事務を環境プラザで行う。	前年度に登録していた団体に対し、再登録を依頼するとともに、市立の小中学校に対し、募集の案内を行った。 21年度登録数:5クラブ	前年度に登録していた団体に対し、再登録を依頼するとともに、市立の小中学校に対し、募集の案内を行った。 22年度登録数:4クラブ	前年度に登録していた団体に対し、再登録を依頼するとともに、市立の小中学校に対し、募集の案内や壁新聞の受け付けを行った。 23年度登録数:3クラブ	前年度に登録していた団体に対し、再登録を依頼するとともに、市立の小中学校に対し、壁新聞募集の案内を行う。	前年度に登録していた団体に対し、再登録を依頼するとともに、市立の小中学校に対し、壁新聞募集の案内を行う。	子どもたちが地域において自主的な環境学習や実践活動を行う「子どもエコクラブ」の登録受付を行うとともに、クラブの日頃の活動を紹介する「壁新聞」を募集した。1クラブ2の壁新聞の応募があり、全国事務局へ県を通して発送した。24年度登録数:2クラブ	4点	環境プラザが平成23年度末で廃止され職員数が4人から1人になったため、会員募集や登録、更新手続き等に関し十分な周知を行うことが必ずしも満足にできなかった。24年度には、市が実施する環境学習の実施に当り協力を得るなど、新たな協働の形態ができた。	環境保全推進課	
		2	2	1	子ども環境学習交流会	市	高松市南部クリーンセンターのエコホールにて、ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通して、実証的な環境教育を推進する。また、2年間で市内全小中学校が半数ずつ参加し、各校の代表児童生徒が、各校の環境学習の取り組みを発表を行うことで学習交流を活性化させ、各校の環境教育を一層推進する。	7月24日、7月31日の2回に分けて実施。ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを発表)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施した。 H20年度 参加校数 小学校26校 中学校12校 参加児童生徒数 187名	7月23日、7月27日の2回に分けて実施。ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを発表)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施した。 H21年度 参加校数 小学校26校 中学校11校 参加児童生徒数 172名	7月27日、7月29日の2回に分けて実施。ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを交流)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施した。 H22年度 参加校数 小学校22校 中学校11校 参加児童生徒数 152名	7月27日、7月28日の2回に分けて実施。ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを交流)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施した。 H23年度 参加校数 小学校26校 中学校11校 参加児童生徒数 185名	南部クリーンセンターごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを交流)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施する。	7月26日、7月31日の2回に分けて実施。ごみ処理施設・廃棄物再生利用施設の見学、分科会(各学校の環境学習の取組みを交流)、リサイクル紙漉体験、子ども環境宣言策定、「高松市子ども環境委員」の任命を実施した。 H24年度 参加校数 小学校22校 中学校11校 参加児童生徒数 161名	5点	設定した目標が達成されている等、十分成果が上がっているため	学校教育課	
		2	3	1	環境保全推進課分室(旧環境プラザ)・エコホールの利用促進	市	環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境学習講座などの実施やリサイクル工作、環境情報の提供を行い、環境プラザ・エコホールの利用を促進する。	環境学習講座の実施ほか、学校やコミュニティセンター等に職員が出向いて出前講座を行った。また、廃食用油を利用した石けん作りなどのリサイクル工作の実施や施設見学への対応を行ったほか、プラザだよりを発行し、事業の紹介や案内等を行うことにより施設利用の促進に努めた。 ・出前講座 50回 ・来館者数 4, 767人 ・プラザだより 年4回発行 ・見学者数(学習室利用者を含む。) 年3,209人 ・体験学習事業(紙すき・石けんづくり等) ・親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年12回 ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット・配付 ・インターネット等情報提供事業	＜環境プラザ＞ 環境学習講座の実施や学校・コミュニティセンター等に職員が出向いて出前講座を行った。また、廃食用油を利用した石けん作りなどのリサイクル工作の実施や施設見学への対応を行ったほか、環境プラザ教室を年間20回実施するなど、施設利用の促進に努めた。 ・出前講座 43回 ・来館者数 3, 087人 ・プラザだより 年2回発行	＜南部クリーンセンター・エコホール＞ 施設見学会を通じて自分たちのごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。また、展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、インターネットなど環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。 ・見学者数(学習室利用者を含む。) 年2,742人 ・体験学習事業(紙すき等) ・親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年13回 ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット・配付 ・インターネット等情報提供事業	＜環境保全推進課＞ 平成22年度の事業仕分けでの廃止判定を受けたことから、24年度以降、施設を本課分室と位置付けたうえで、環境活動団体等への無料貸し出しや環境学習活動での活用を進めている。 ＜南部クリーンセンター・エコホール＞ 施設見学会を通じて自分たちのごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。また、学習室では、紙すきや工作などを実施して、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。 ・見学者数(学習室利用者を含む。) 年3, 436人 ・体験学習事業(紙すき等) ・親子リサイクル工作会・施設見学会、自主企画事業 年14回 ・インターネット等情報提供事業 ・エコホール体験学習業務委託(コラボレーション事業)	＜南部クリーンセンター＞ 施設見学会を通じて自分たちのごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供できた。また、学習室では、紙すきや工作などを実施して、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。 ・見学者数(学習室利用者を含む。) 年3, 436人 ・体験学習事業(紙すき等) ・親子リサイクル工作会・施設見学会、自主企画事業 年14回 ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷、配付 ・インターネット等情報提供事業 ・環境プラザ 環境学習講座の実施や学校・コミュニティセンター等に職員が出向いて出前講座を行った。また、廃食用油を利用した石けん作りなどのリサイクル工作の実施や施設見学への対応を行ったほか、環境プラザ教室を年間20回実施するなど、施設利用の促進に努めた。 ・出前講座 52回 ・来館者数 4, 230人 ・プラザだより 年4回発行	4. 5点	＜南部クリーンセンター・エコホール＞ 施設見学会を通じて自分たちのごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供できた。また、学習室では、紙すきや工作などを実施して、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。 ・見学者数(学習室利用者を含む。) 年3, 436人 ・体験学習事業(紙すき等) ・親子リサイクル工作会・施設見学会、自主企画事業 年14回 ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷、配付 ・インターネット等情報提供事業 ・環境プラザ 環境学習講座の実施や学校・コミュニティセンター等に職員が出向いて出前講座を行った。また、廃食用油を利用した石けん作りなどのリサイクル工作の実施や施設見学への対応を行ったほか、環境プラザ教室を年間20回実施するなど、施設利用の促進に努めた。 ・出前講座 52回 ・来館者数 4, 230人 ・プラザだより 年4回発行	環境保全推進課 南部クリーンセンター		
		2	3	1	夏休み市場DE自由研究(※)	高松市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、鮮魚や生鮮食品等に触れる機会を設けるとともに、市場の機能の仕組みや、流通システム等について理解を深めてもらうことにより、市場のPR、食生活等について学んでもらうためのきっかけづくりとするもの。(食育の推進)	青果部、水産物部、花き部においてそれぞれ1回開催した。 46組110人が参加した。	青果部、水産物部については各2回、花き部について1回、合計5回開催した。69組、161人が参加した。	青果部、水産物部については各2回、花き部について1回、合計5回開催した。74組、183人が参加した。	青果部、水産物部については各2回、花き部について1回、合計5回開催した。68組、185人が参加した。	青果部、水産物部については各2回、花き部について1回、合計5回実施。	5点	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究の参考になるように視覚、嗅覚、味覚、触覚で感じ取れる体験型の内容に努めており、好評をいただいている。	中央卸売市場業務課		

②いきいき高松まなびプランⅡ(高松市生涯学習基本計画)に基づく重点取組事業推進状況一覧表

重点取組事業	施策体系	事業名	実施主体	事業概要	20事業内容(実績)	21事業内容(実績)	22事業内容(実績)	23事業内容(実績)	24事業内容(計画)	24事業内容(実績)	総合(過去5年間)		課名																
											評価点	評価の理由																	
2	3	1	水源地域(早明浦・地元水源)清掃ボランティア	市	毎年11月に早明浦ダムで開催される湖畔マラソンに合わせ、コースとなるダム周辺道路の清掃を、公募の市民や水道事業協力員とその家族、職員などで実施している。また、地元水源(内場池など)についても、地元団体の趣旨に賛同し、ボランティアで清掃活動に参加している。	平成20年度は、雨天のため、清掃活動を中止し、施設見学に変更。また、地元水源の清掃については、地元団体の都合で実施されなかったため、清掃活動も未実施。	平成21年11月8日(土)に、実施。参加者は、公募一般市民を含め、197人であった。参加希望者が多く、抽選等で参加人数を制限した。本事業は、湖畔マラソン開催前日の清掃活動として定着しており、地元からも評価を得ている。	平成22年11月7日(土)に、実施。参加者は、公募一般市民等192人であった。参加希望者が多く、抽選等で参加人数を制限した。本事業は、湖畔マラソン開催前日の清掃活動として定着しており、地元からも評価を得ている。23年度は、木工教室に参加できるコースを設け水源地域との交流事業としたが、応募者が少なく実施を見送った。	平成23年11月12日(土)に、実施。参加者は、公募一般市民等180人であった。参加希望者が多く、抽選等で参加者を決定した。本事業は、湖畔マラソン開催前日の清掃活動として定着しており、地元からも評価を得ている。23年度は、木工教室に参加できるコースを設け水源地域との交流事業としたが、応募者が少なく実施を見送った。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	平成24年11月10日(土)に、実施。参加者は、公募一般市民等186人であった。本事業は、湖畔マラソン開催前日の清掃活動として定着しており、地元からも評価を得ている。地元水源の清掃については、平成24年11月17日(土)に、「奥の池の清掃奉仕作業」として実施した。	5点	事業としては、市民の関心が高く、21年度から23年度は参加者を抽選して決定するほどであった。今後も、水源保全および水源地域に対する理解と関心を高め、水資源の大切さに対する意識啓発を図るという目的にそった事業としていきたい。	上下水道局企業総務課															
															2	3	2	健康づくり推進事業	市	「健やか高松21」の目標達成のため、市民の自主的な健康づくり意識の啓発を図るため、乳幼児から高齢者までの保健ニーズに即したテーマを決め、平成13年に制定された「市民健康の日」の併せて「高松市民健康まつり」を開催したり、「いきいき健康セミナー」等による研修や実践活動を実施。	・高松市民健康まつり H20.9.7(日) 参加人員 1,650人 いきいき健康セミナー H20.6月・9月・11月 参加者数 87人 生活習慣病予防教室 H20.12月4・11・18日 参加者数 54人 ・食生活改善推進協議会活動	・高松市民健康まつり H21.9.3(木)がん予防シンポジウム 参加人員 231人 H21.9.6(日)参加人員 1,000人 いきいき健康セミナー H21.6・9・11月 参加者数 124人 生活習慣病予防教室 H21.6月11・18・25日 参加者数 73人 H21.12月3・10・17日 参加者数 42人 ・食生活改善推進協議会活動	・糖尿病予防教室実施 延べ 16回 参加者数 239人 ・市役所ロビー展示「生活習慣病予防」薬しく健康づくり H22.8.30～9.3 参加者 約400人 ・食生活改善推進協議会活動	・糖尿病予防教室実施 延べ17回 参加者数279人 ・市役所ロビー展示「うきうきわくわく健康らいふ～健康づくりはあなたが主役～」 H23.8.29～9.2 参加者 約263人他 ・食生活改善推進協議会活動	・糖尿病予防教室実施 ・「高松市民健康の日」普及啓発ロビー展を開催し、市民に健康づくりの啓発を実施 ・食生活改善推進協議会活動	・糖尿病予防教室実施 ・「高松市民健康の日」普及啓発ロビー展を開催。テーマ：「うきうきわくわく健康らいふ～今年は糖尿病予防編だよ～」 糖尿病予防を中心に、小児～成人の生活習慣病予防コーナー、運動体験コーナー、クイズラリー等の市民に健康づくりの啓発を実施 H23.8.29～8.31 参加者 延べ約510人他 ・食生活改善推進協議会活動	4点	「高松市民健康まつり」は、廃止となったが、「高松市民健康の日」の啓発や「健やか高松21」の推進のため、「メタボ予防」「糖尿病予防」「こころの健康」等その時々の健康課題について、機会を捉えて啓発した。	保健センター
4	1	1	環境リーダー養成事業	市	地球温暖化防止や環境保全に対する理解と取組み意識を高めるため、環境リーダーを養成し、環境リーダーを通じて環境情報の提供、学校教育および生涯学習における環境教育・学習の充実を図る。	環境リーダーの役割や、具体的な活動内容について、他都市の状況を調査した。	政策会議に諮った結果、養成講座は、協働企画提案事業によりNPOを活用することとされ、リーダーの位置付け等について再検討することとなった。	環境リーダー養成講座を協働企画提案事業とし、問題解決研修など10回の講座をNPOに委託して実施した。31人の応募があり、7回以上の講座を受講した15人について、修了証を交付した。	問題解決研修やエコ工作など7回の講座をNPOに委託して実施した。8人の応募があり、5回以上の講座を受講した4人について、修了証を交付した。	環境活動団体等の協力を得ながら各種の環境学習を行う中で、環境リーダー等人材養成事業を実施する。過去に人材養成系プログラムの実施実績を持つ団体の協力を得ながら広く参加者を募集し人材育成に努める。	新規環境リーダー養成事業は実施しなかったが、環境活動団体等が実施する環境学習活動等において人材育成に努めており、紙すき実習に参加させたり美化活動に対し清掃用具の貸出等を行うなど、環境リーダーのレベルアップや活動支援に努めた。	4点	環境保全活動の指導的役割を担う人材を育てるため、平成22・23年度に環境リーダー養成講座を実施し、18人に対し修了証を交付した(2か年重複受講者有)。東京商工会議所が実施する「エコ検定」に合格する者が現れたり、有志11人で「高松環境リーダーの会」が結成され各種活動を行うなど一定の効果認められる。今後、環境学習の講師として活用するなど環境リーダーの活動の場を提供したり、新たな環境リーダーの養成について支援していく。	環境保全推進課															
																		コミュニティセンター・公民館講座	市	公民館やコミュニティセンターにおいて、市民の環境問題への理解を深めるための環境講座や、少子・高齢化社会の進展に伴い重要性が高まっている健康に関する講座を開催し、地域住民に学習の機会と場を提供する。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催した。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催した。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催した。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催した。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催する。	公民館やコミュニティセンターにおいて、環境講座や健康講座を開催した。	9割以上の公民館やコミュニティセンターにおいて、市民の環境問題への理解を深めるための環境講座や、少子・高齢化社会の進展に伴い重要性が高まっている健康に関する講座を開催したため。	生涯学習センター	
4	学びの場としてのコミュニティセンターの充実と活用	2	3	2	コミュニティセンターおよび公民館講座	市	各コミュニティセンターおよび公民館において、環境問題学習、人権学習(同和問題)、男女共同参加学習などの現代的課題をテーマとする講座を開いたほか、親子のふれあい学習や心と体の健康教育、書道・茶道などの趣味・実技講座を開講し、地域住民に学習の機会と場を提供する。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催した。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催した。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催した。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催する。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催した。	すべてのコミュニティセンターおよび公民館において、コミュニティセンターおよび公民館講座を開催したため。	生涯学習センター															
															3	4	3	2	1	コミュニティセンター・公民館における学習成果の発表の場提供事業	市	コミュニティセンターおよび公民館で、市民の学習意欲を高めるため、地域住民がこれまで培ってきた学習成果を発表する場を提供する。	コミュニティセンター・公民館において、市民の学習成果を発表する場を提供した。	コミュニティセンター・公民館において、市民の学習成果を発表する場を提供した。	コミュニティセンター・公民館において、市民の学習成果を発表する場を提供した。	コミュニティセンター・公民館において、市民の学習成果を発表する場を提供する。	5点	計画どおり、コミュニティセンター51館および公民館1館において、市民の学習成果を発表する場を提供した。	生涯学習センター
3	2	2	地区公民館を含むコミュニティセンターの整備	市	地域住民によるまちづくり活動の場を生産学習および地域福祉の推進に資するため、コミュニティセンター(コミュニティセンター化が予定されている地区公民館を含む。)の整備を行う。	①下笠居コミュニティセンターの改築工事に係る用地造成工事、建設工事等を実施する。 ②コミュニティセンター(5箇所)のトイレの男女別化のための工事を行った。	①下笠居コミュニティセンターの改築工事、太陽光発電設置工事および既存建物撤去工事を実施した。 ②三谷コミュニティセンターの改築工事に係る用地購入、埋蔵物調査等を行った。 ③コミュニティセンター(1箇所)のトイレの男女別化のための工事を行った。	①三谷コミュニティセンター改築工事 ②コミュニティセンター(2箇所)のトイレの男女別化工事 ③コミュニティセンター(3箇所)の耐震化等工事実施設計 ④コミュニティセンター(3箇所)の空調等改修工事実施設計 ⑤築地小学校跡施設コミュニティセンター化のため耐震化等設計 ⑥香南コミュニティセンター改築、牟礼コミュニティセンター新築の実施設計	①三谷コミュニティセンター改築工事 ②コミュニティセンター(2箇所)のトイレの男女別化工事 ③コミュニティセンター(6箇所)の空調等改修工事 ④築地小学校跡施設コミュニティセンター化耐震化等設計・工事 ⑤香南コミュニティセンター改築、牟礼コミュニティセンター新築設計・工事 ⑥国分寺北部コミュニティセンター耐震化等設計・工事 ⑦鬼無コミュニティセンターほか6館調査設計	①築地小学校跡施設コミュニティセンター化耐震化等工事 ②国分寺北部コミュニティセンター耐震化等工事 ③香南コミュニティセンター改築、牟礼コミュニティセンター新築工事 ④林コミュニティセンター建築工事基本設計 ⑤鬼無・円座コミュニティセンター耐震・改修工事実施設計 ⑥香川町農村環境改善センターのコミュニティセンター化に伴う改修工事実施設計	5点	(地域政策課) ①築地小学校跡施設コミュニティセンター化耐震化等工事 ②国分寺北部コミュニティセンター耐震化等工事 ③香南コミュニティセンター改築、牟礼コミュニティセンター新築工事 ④林コミュニティセンター建築工事基本設計 ⑤鬼無・円座コミュニティセンター耐震・改修工事実施設計 ⑥香川町農村環境改善センターのコミュニティセンター化に伴う改修工事実施設計(生涯学習課) 公民館条例の廃止に伴い、H24.3.31に牟礼公民館は閉館し、牟礼コミュニティセンターに移行された。	地域政策課 生涯学習課																
														3	4	2	2	地区コミュニティまちづくり活動支援事業	市	各地区(校区)の自治会を中心とした各種団体等で結成される地域コミュニティ組織の設立後、コミュニティプランを策定しているコミュニティ協議会に対して、コミュニティプランを年間事業計画に反映できるよう、会議等の運営のために年間20万円の補助を3年間まで実施し、まちづくりの活動を支援する。	まちづくり活動支援事業 29地区(校区)×200千円＝5,800千円	まちづくり活動支援事業 19地区(校区)×200千円＝3,800千円	まちづくり活動支援事業 9地区(校区)×200千円＝1,800千円	まちづくり活動支援事業 9地区(校区)×200千円＝1,800千円	まちづくり活動支援事業 6地区(校区)×200千円＝1,200千円	まちづくり活動支援事業 6地区(校区)×200千円＝1,200千円	5点	各地域コミュニティ協議会のコミュニティプラン作成を支援することにより、地域の課題が分析されその解決に役立っている。	地域政策課

②いきいき高松まなびプランⅡ(高松市生涯学習基本計画)に基づく重点取組事業推進状況一覧表

重点取組事業	施策体系	事業名	実施主体	事業概要	20事業内容(実績)	21事業内容(実績)	22事業内容(実績)	23事業内容(実績)	24事業内容(計画)	24事業内容(実績)	総合(過去5年間)		課名		
											評価点	評価の理由			
5 学習成果を社会・地域で生かす仕組みづくりの推進	1 4 2 3	1 2 2 2	ホームページでの人材情報の提供	市	市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習一般を始め、文化・芸術・スポーツなどの分野に関する知識・技術等を持つ方を、人材情報として市ホームページで紹介する。	人材情報登録者数の増加を図った。 20年度末登録者数 429人	人材情報登録者数の増加を図った。 21年度末登録者数 748人	人材情報登録者数の増加を図った。 22年度末登録者数 749人	人材情報登録者数の増加を図った。 23年度末登録者数 747人	人材情報登録者数の増加を図る。	人材情報登録者数の増加を図った。 24年度末登録者数 747人	5点	人材情報登録者数の増加が図れたため。	生涯学習センターほか	
						2 4	3 2	2 3	自主防災組織の育成	市	自主防災組織に、避難誘導、初期消火、被災者の救出救護および応急手当等の指導を行い、災害に対する知識・対処法を修得してもらい、災害時における被害軽減を図る。				すでに結成されている937自主防災組織に対して、各地区・校区で実施する防災訓練等で、避難誘導、初期消火、応急手当等を実施した。
	2 4	3 2	3 2 3	地域における人権啓発推進事業	市	地域社会が一体となった人権教育・啓発の推進を図るためには、地域自らのまちづくりに取り組んでいる各地区の「地域コミュニティ協議会」内に、人権教育・啓発のための自主的・主体的な取組みを推進するリーダー的人材が必要であり、その人材を養成するため、「人権啓発推進員」養成講座を開催する。「人権啓発推進員」養成講座を受講した推進員が、コミュニティ協議会の運営に関わる中で、講座で得た手法・知識を生かし、それぞれの地域で人権啓発活動に取り組む。	「人権啓発推進員」養成講座 3回開催	「人権啓発推進員」養成講座 5回開催	「人権啓発推進員」研修会 2回開催	「人権啓発推進員」研修会 2回開催	「人権啓発推進員」研修会 2回開催予定	「人権啓発推進員」研修会 2回開催	4点	地域社会が一体となった人権教育・啓発の推進を図るために、各地区の「地域コミュニティ協議会」内に、人権教育・啓発のための自主的・主体的な取組みを推進するリーダー的人材である、「人権啓発推進員」を置き、その人材育成のための養成講座を開催した。「人権啓発推進員」養成講座を受講した推進員が、コミュニティ協議会の運営に関わる中で、講座で得た手法・知識を生かし、人権に関する講座の企画等の人権啓発活動に取り組んだ。講演会等の参加人数は目標以上に増加することができた。	人権啓発課
	4	1	1	観光ボランティアガイド育成事業	高松市観光ボランティア(補助)	本市を訪れる観光客の皆様へ、「おもてなし」の心をもって接しながら、高松の歴史、文化、自然、物産などの魅力をより深く知ってもらうため、観光客と市民との交流が図られる観光ボランティアガイド事業を行うもの。ガイドとしての自己研鑽を積む必要があることから、研修会を開催する等、育成事業に補助金を交付し、資質向上に供している。	ガイドとして、また、団体としての資質向上を図るため、岡山県津山市のボランティアガイド団体との交流を図った。また、香川県立ミュージアムの学芸員を招いての講演会を開催するとともに新任者に対しての研修会および実地講習を行った。	市内(屋島山上・玉藻公園・サンポート)3か所、ボランティアガイド事業を実施。瀬戸内国際芸術祭2011の期間中は、玉藻公園における「おもてなし庵」の開催日にあわせてガイドを実施するなど、積極的な活動を行った。その他たつの市のボランティアガイドや四国語部交流会との交流、学芸員を講師に招いての研修会、観光ボランティアガイド全国大会への参加等を通じ、ガイドおよび団体としての資質向上を図った。	市内(屋島山上・玉藻公園・サンポート)3か所、ボランティアガイド事業を実施。瀬戸内国際芸術祭2011の期間中は、玉藻公園における「おもてなし庵」の開催日にあわせてガイドを実施するなど、積極的な活動を行った。その他たつの市のボランティアガイドや四国語部交流会との交流、学芸員を講師に招いての研修会、観光ボランティアガイド全国大会への参加等を通じ、ガイドおよび団体としての資質向上を図った。	市内(屋島山上・玉藻公園・サンポート)3か所、ボランティアガイド事業を実施。その他加古川市・明石市のボランティアガイド団体との交流や香川県立ミュージアムの学芸員を招いての講演会、観光ボランティアガイド全国大会への参加等を通じ、ガイドおよび団体としての資質向上を図った。 また、平成23年度においては、市政功労者賞を受賞した。 ・ガイド件数 2,393件 ・ボランティアガイド登録者数 102名	市内(屋島山上・玉藻公園・サンポート)3か所、ボランティアガイド事業を実施。観光客へのサービス向上を図るため、研修会等によりボランティアガイドの育成に努めるとともに、他のガイド団体との連携を図る。 また、平成23年度においては、市政功労者賞を受賞した。 ・ガイド件数 2,385件 ・ボランティアガイド登録者数 103名	4点	ボランティアガイド事業については、県外からの観光客などからの問い合わせも多く、市内観光地の魅力を伝える一つの手段として、活用されている。 また、平成23年度においては、市政功労者賞を受賞し、これまでのボランティアガイド活動についての功績が認められたことから、事業の成果は上がっていると考えられる。ただし、ボランティアガイドの新規登録者は未だ少数人数といえるので、今後、新たな登録者を獲得するための広報等が必要となる。	観光交流課	
4 4	1 3	2 2	市民の学習成果の発表の場提供事業	市	生涯学習センターで、市民の学習意欲を高めるため、市民がこれまで培ってきた学習の成果を発表する場を提供する。	6講座開催 延べ100人受講	4講座開催 延べ154人受講	6講座開催 延べ477人受講	7講座開催 延べ260人受講	6講座程度を開催する。	13講座開催 延べ194人受講	5点	生涯学習センターで、市民の学習意欲を高めるため、市民がこれまで培ってきた学習の成果を発表する場を提供できたため。	生涯学習センター	
4	2	1	地域コミュニティ人材養成講座	市	地域みずからのまちづくりの中核を担う自治会員を中心に、まちづくりをサポートする行政職員も含め、地域コミュニティの役割、必要性、活動方法等を理解し、その成果を地域で実践し、まちづくりに取り組む、地域コミュニティを推進するリーダー的人材を養成するための研修を実施する。	講座 「地域みずからのまちづくりのために～元気なまちへ・パワーアップ～」 日時:平成20年9月6日(土)10:00～15:00 平成20年9月7日(日)10:00～15:00 延べ78人参加 講師:四日市大学総合政策学部教授 岩崎 恭典 氏 講演会 「住民自治のコミュニティづくり」 日時:平成21年2月24日(土)14:00～15:00 約300人参加 講師:コミュニティ政策学会理事 田中 義岳 氏	講演会等 「コミュニティ政策学会 高松大会」 日時:平成21年7月4日(土)14:15～17:00 平成21年7月5日(日)9:30～12:00 延べ約300人参加 講師:法政大学法学部教授 名和田 晃彦 氏 ほか 「これからのコミュニティ活動」 日時:平成22年2月20日(土)13:45～15:00 約300人参加 講師:四日市大学総合政策学部教授 岩崎 恭典 氏	講演会等 「地域コミュニティ活動の活性化と各種団体との連携」 日時:平成23年1月7日(金)9:55～16:00 講師:九州大学大学院総合新領域学府 特任准教授 加留部 貴行 氏 「高松市自治と協働の基本指針について」 「高松市地域ゆめづくり提案事業報告会」 日時:平成23年2月26日(土)13:45～16:20 講師・発表者:地域政策課長 藤本行治 各コミュニティ協議会関係者	基調講演会 「高松市自治と協働の基本指針～みんなでこっしやえようまげな高松～」 帝塚山大学法政策部 教授 中川 幾郎 平成23年5月14日(土) 15:00～17:00 高松市役所13会 大会議室 基調講演会・職員研修会 『「できない」を「できる！」に変える企画力・実現力～地域を変えるチカラとは?～』 東京農業大学客員教授 内閣官房 地域活性化伝道師 地域活性化学理事 木村俊昭 平成24年2月25日(土) 高松テルサ・ホール 平成24年2月26日(日) 市役所11階 114会議室	講座形式の研修を実施するほか、過去の事業に参加した受講生が、地域でのまちづくりに関わる中で、研修で得た手法・知識を生かし、それぞれの地域で人材養成に取り組む、地域コミュニティの人材を発掘、育成する。 また、自治と協働の基本指針に掲げる理想像「地域の特性を生かし、多様な主体が参画、協働するまちづくり」を図るため、地域コミュニティ協議会や市民活動団体、行政職員を対象に研修を実施する。	職員研修会 『市民協働による自治体経営を進めるために～その意味と実践～』 平成25年2月21日(木)、2月22日(金) 講師 櫻井 常矢 氏 高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 准教授 高松市役所 本庁舎 11階114会議室 基調講演会 『これからの地域づくりに求められるもの』 高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 准教授 櫻井 常矢 氏 高松テルサ	5点	人材養成講座終了後に回収する、ふりかえりシートには、参加者からの講座に対する高い評価や、前向きな意見が多数寄せられており、地域コミュニティの役割、必要性、活動方法等の理解が広がっていると実感する。	地域政策課	
4 4	2 3	2 3	地域コミュニティまちづくり活動支援事業	市	各地区(校区)の自治会を中心とした各種団体等で結成される地域コミュニティ組織の設立後、コミュニティプランを策定しているコミュニティ協議会に対して、コミュニティプランを年間事業計画に反映できるよう、会議等の運営のために年間20万円の補助を3年間まで実施し、まちづくりの活動を支援する。	まちづくり活動支援事業 29地区(校区)×200千円＝5,800千円	まちづくり活動支援事業 19地区(校区)×200千円＝3,800千円	まちづくり活動支援事業 9地区(校区)×200千円＝1,800千円	まちづくり活動支援事業 9地区(校区)×200千円＝1,800千円	まちづくり活動支援事業 6地区(校区)×200千円＝1,200千円	まちづくり活動支援事業 6地区(校区)×200千円＝1,200千円	5点	各地域コミュニティ協議会のコミュニティプラン作成を支援することにより、地域の課題が分析されその解決に役立っている。	地域政策課	

(※)・・・新規事業(計画には記載されていない)